

1. 調査報告概要表

作成日 平成19年11月19日

【評価実施概要】

事業所番号	2670600424
法人名	有限会社カスタネット
事業所名	グループホームカスタネット
所在地	京都市左京区岩倉花園町401 (電話)075-703-2470

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成19年10月29日	評価確定日	平成19年12月18日

【情報提供票より】(平成19年4月1日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 15年3月24日		
ユニット数	1人	利用定員数計	9人
職員数	10人	常勤5人, 非常勤5人, 常勤換算	4.2人

(2)建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階 ~	1階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	(無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	(有) 円	有りの場合 償却の有無	(有) 無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	120 円
	または1日当たり		1,320 円	

(4)利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	1名	要介護2	1名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	74歳	最高	99歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	京都民意連洛北診療所
---------	------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

学生寮を改造してつくられたこのグループホームは閑静な住宅街の中にあり、玄関先の広い庭にはたくさんの花が咲きほこり心を癒してくれます。そこにはベンチとテーブルが置かれティータイムなどの楽しみもあります。ホーム内はバリアフリーとなっており窓からのロケーションは、田園風景が広がり、ホームにいながらして季節感が味わえます。アットホームな施設で職員同士、大変仲が良くそれぞれが得意分野を出し合ってお互いを補い協力し合いながら、優しいまなざしで、ケアをされています。職員の言葉づかいはとても丁寧で入居者に尊厳をもって接しておられます。外出の機会もたくさんあり、演歌歌手のコンサート・お食事会や日々のレクリエーションなども多く取り入れ、入居者のために出来る事を考え実行されている施設です。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の結果・改善点等について話し合いを持ち、よりよい方向への取り組みなど検討され、改善されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の結果を踏まえ、ケアプランの方法について意見を聞きながらホーム独自にまとめあげたり、契約書の中に権利義務に関する事を盛り込むなど、前向きに取り組んでおられます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は自治会長・福祉委員・老人クラブ会長・家族代表(2家族)・利用者代表・地域包括支援センター職員が参加し、2か月に1回開催されています。グループホームの広報を配布し、取り組み・活動等についての情報交換の場となっています。またホームで行う音楽療法の行事にも参加してもらうなどサービスの向上に向けて努力されています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	3ヶ月に1回広報誌を配ったり、面会時にお茶を飲みながら家族の意見・要望を言いやすい雰囲気づくりをしています。意見箱も置かれており、さらに意見を言いやすいよう家族の集まる機会を設ける予定です。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	こども110番の家にもなっており小学生がホームに遊びにきたり、地域住民と話をする機会がたくさんあります。住民のボランティアによるホーム内での朗読会・生け花教室、その他敬老会・納涼大会などへ参加するなど、地域との交流を深める取り組みがなされています。ホームでの音楽療法は地域住民も楽しみにされており、地域との関係がより良いものとなっています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「束縛のない自由な暮らしと様々なレクリエーションに取り組み、生き生きと元気で、その人らしい日常生活が送れるように優しいまなざしで支援します。」という理念が掲げられている。	○	地域密着型サービスのホームとして、今ある理念に地域での役割という観点からの文面を盛り込まれる事を期待する。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	様々なレクリエーションを通して利用者にあつた支援をしながら、その人らしい生き生きとした日常生活が送れるよう理念の実践に向けてのケアを提供している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	散歩時、近所の住民と話をしたり小学生がホームに遊びに来たりする事もある。また、こども110番の家にもなっている。地域住民のボランティアによるホーム内での朗読会、生け花教室もあり、敬老会・納涼大会へ参加するなど、地域との交流を深める取り組みがなされており、ホームでの音楽療法は地域住民も楽しみにされているなど地域との関係が構築されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価については話し合った、権利・義務、ケアプランなどについて改善に向けて取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長・福祉委員・老人クラブ会長・地域包括支援センター・家族代表・利用者等が参加し2ヶ月に1回開催されている。広報の配布、報告だけでは理解されにくいのでホームで行う音楽療法などの行事にも参加してもらうなどホームを理解してもらえるように努めている。	○	行政担当者が出席できるよう働きかけを期待する。

グループホームカस्ताネット

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議の報告を郵送している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	3ヶ月に1回、広報誌を送っている。面会時にお茶を飲みながら入居者の暮らしぶりなど話をするようにしている。また、メールでのやりとりをしている家族もある。リビングには行事等の写真を貼りだし、いつでも見れるようになっている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの玄関には意見箱を設置している。ホーム側や行政の相談窓口も文書に明記している。今後、家族が集まる機会を設け、様々な話ができるよう交流会を持つ予定である。	○	より家族の思いが把握できるように、満足度調査的な、項目を定めたアンケートをされてはでしょうか。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者として、働きやすい環境を意識しており、新任の職員が来ても馴染むまで時間はかからない。過去にダメージを示す入居者はおられなかった。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部・外部研修ともされており、報告書を作りそれをもとに伝達研修をし共有を図っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者同士の交流・勉強会もあり情報収集の場となっている。また職員の交換研修もあり、学び・気付きのためのいい機会となっている。それらをサービスに反映させ、質の向上を目指している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には本人や家族にホームを見学してもらっている。気に入られたら入居となる。入居後、集中的に関わりを持ち職員との信頼関係作りにつなげている。また、居室には馴染みの家具や物品を持ち込み、家族が泊り込んだり、気軽に面会できる雰囲気づくりに配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常的に一緒に食事の支度をしながら、料理の方法など入居者より教えてもらう場面を大切にしている。また買い物・洗濯物干しなど出来る事に関わって貰いながら、入居者と支え合ったり、喜びを分かち合い、協働しながら生活している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式によるアセスメント用紙を活用し、入居者の要望や思いを日々のケアの中で把握するよう努めている。生け花・唄・動物好きな方等、それぞれに合わせ支援をしているが、思いが分からない場合でも、働きかけて意向を把握するよう努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	センター方式と、独自のアセスメントシートを定期的に更新し、入居者とは日々の関わりの中で、家族とは訪問時などに意見を聞き、月1回のカンファレンスにて話し合い、それぞれケアプランに反映している。	○	家族・利用者の、それぞれの意見を分かりやすく記録するために、書式の検討を期待する。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの課題・実施表を作成し、月1回のカンファレンスとモニタリングをしている。3ヶ月に1回は見直しをしており、特に退院後、医療的な注意点等ある時は計画に盛り込まれている。		

グループホームカスタネット

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族が行けない場合の通院介助、家族の宿泊、食事提供などの支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回診療所からの往診があり、精神科のかかりつけ医とも連携がとれている。また、歯科往診もあり、口腔衛生について話を聞く機会もある。診療所とは携帯電話にて24時間の医療体制がとれている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時、家族・利用者の希望を聞き同意書をとっている。ホームにて看取りの体制も出来ており、今までもターミナルケアの経験もある。また、ホームで葬儀まで出来る体制もある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	理念にもあるように、職員は優しいまなざしで、丁寧な言葉・態度で接しており一人ひとりを尊重している。何かあれば職員間で注意し合っている。記録物については扉つきの書庫に保管している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間・就寝時間等定められておらず、それぞれのペースで過ごされている。一人一人の特徴を把握し、本人の希望にそって柔軟な支援をしている。ほぼ毎日日記を書いておられる方があり、忘れてしまわれたら、出来るだけ思い出されるようにその日の事を話して、思い出されるような支援もしている。		

グループホームカスタンネット

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは、当番制となっているが、みんなで楽しみながら一緒に作っている。献立は当日考え、食材の買い出しにも毎日出かけている。昼食時はそれぞれにランチョンマットが敷かれ、花や動物・人形などの箸置きが置かれ、楽しみながら食事が摂れるよう工夫されている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	風呂好きな入居者が多く沐浴剤を利用しながらゆっくりと入浴できるよう支援しており、拒否される場合でもタイミングをみて支援している。	○	もう少し時間を長くして入浴時間に幅を持たせては如何でしょうか。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生け花・ピアノ演奏・百人一首など、入居者の経験や今ある力を発揮できる場面づくりを支援している。また演歌歌手などのコンサート、食事外出など楽しみごとの選択肢がたくさんあり、すべてホーム負担でまかなっている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの周りを散歩したり、庭でティータイムを楽しんだりしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけずに自由な暮らしを支援している。戸が開くとチャイムが鳴るようになっている。外に出られることがあっても、庭が広く、そこにはたくさんのお花が咲きほこり、ベンチで一服出来るようになっている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を実施している。自治会長の協力もあり、ホーム外での災害時どうするか等の話も運営推進会議の中で話し合われている。ホーム2階の交流スペースを近隣の避難場所に提供する考えもある。		

グループホームカスタネット

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	メニューが豊富でバランスのとれた楽しみのある献立となっている。特に野菜が不足しないよう考慮し献立が考えられている。食事摂取量・水分量については記録されており、毎月の体重から一人ひとりの状態を把握している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	皆の集まる広いリビングには、季節に応じた貼り絵や行事の際の写真が貼られ、外からの採光もあり明るく心地よい空間となっている。料理のおいしそうなおいも漂い、幸せを感じられる雰囲気がある。猫が飼われ、戯れながら一緒に生活されている。窓の外は柿が実り、田植え、稲刈りなどの季節を味わえる素晴らしいロケーションである。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ベッド以外のものは使い慣れた馴染みのものや、こだわりのものを持ち込み、その人らしい居心地の良い居室づくりがなされている。		